

献体制度を知っていますか？

あなたの協力が

未来の医師を育てる



岐阜大学は 献体 にご協力いただける方を募集しています。

献体制度は医学教育において不可欠な制度であり、医師としての倫理観を養う重要な役割ももっています。

献体とは

医師・歯科医師の養成と医学・歯学の発展と進歩のために、
死後、自分の身体を無条件・無報酬で提供することをいいます。

献体された身体の使用目的

- ・医学部医学科の学生のための解剖実習
- ・医師・歯科医師の手術手技研修
- ・医師以外の医療従事者をめざす学生のための解剖見学実習
- ・解剖学研究および学会発表等

私たちは、解剖実習で献体された方を「最初の患者さん」として敬う倫理観や、教科書には描かれない個人差の存在を学ぶことを大切にしています。さらに、医師・歯科医師を対象とした手術手技研修「カダバー・サージカル・トレーニング（CST）」では、スタッフが一丸となり、ご遺体を適切に管理しつつ、医学の発展と進歩のために尽力しています。

今後も、皆様のご支援とご指導を賜りながら地域医療、さらには国際的に活躍できる人材の育成に尽力してまいります。

何卒ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

岐阜大学医学部 解剖学分野
教授 江角重行

ご協力お願い申し上げます。



お問い合わせ先 岐阜大学医学部献体窓口

☎ 058-230-6190
E-mail: kentai@t.gifu-u.ac.jp

お気軽にお問い合わせください。

献体窓口のホームページは右記QRコードを読み込んでご確認ください。

- よくあるご質問
- 資料請求など
- お問い合わせフォーム

岐阜大学 献体

検索



©2025 Nanami Tanahashi



感謝の言葉



まず初めに、自らのお身体を通して私たち医学生に学びの機会を与えてくださったご献体者の方々、そしてそのご遺族の皆様には深く感謝いたします。ご献体者の皆様、死後にご自身の体を無条件・無報酬で提供しようというご意思があったからこそ、これから医学について学んでいくという段階の未熟な私たちが、実際のお身体に触れながら構造を学ぶという貴重な体験をさせていただくことができました。この実習は、私の解剖学への理解を深めるだけでなく、医師としての姿勢や倫理観をさらに養うきっかけとなる、かけがえのない経験となりました。今回得た知識や経験、感じた思いを決して忘れず、患者さんひとりひとりと真摯に向き合うことのできる医師を目指して、努力を重ねていきます。最後に改めて、ご献体者の方々、ご遺族の皆様には深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

岐阜大学医学部医学科学生 Aさん



実習が始まる前はとても緊張していました。それは「解剖」という行為に対する緊張でした。しかし、先生方の講義で、献体制度について、ご献体者の方々について、そして「ご献体は私たちの最初の患者さん」であるということについて話を聞き、気持ちは変化しました。ご献体者の意思を無駄にしないよう、ご遺族の方々に「たくさんのことを学ばせていただいた」と胸を張ってお伝えできるよう、真剣に少しでも多くのことを学ぶという気持ちで実習に臨むことができました。医学の発展と、医学生のためにお身体を捧げてくださった、私たちの最初の患者さんであるご献体者様の崇高なお気持ちのおかげで学ぶことができたということを忘れず、これからも医学をより深く学び、医学の道を進んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

岐阜大学医学部医学科学生 Bさん



人体の解剖学を復習しながら、普段は出血に注意して行う手術を、出血の心配や手術時間の制限なく実施できました。そのため、手術手技を的確に確認・習得することができ、若手外科医師の教育に大変有用でした。このような貴重な機会をいただき、ご献体者ならびにご遺族様に、深く感謝申し上げます。

岐阜大学病院 C医師



＊ 皆様のご協力に感謝申し上げます。

